

日刊県民福井 平成24年 6月29日

中山商事(株)

# 「恐竜将棋」知育アップ

恐竜のかわいいイラストを描いた駒を使って将棋を楽しむ「きょうりゅうしょうぎ」が、紙加工メーカーの中山商事(福井市)から発売された。同社に勤務する元女流アマ名人、石内奈々絵さんが企画。将棋以外にもさまざまな活用方法を提案し、知育教材として「恐竜王国福井」をPRしていく。

(北原愛)

福井市出身の石内さん

石内さんは福井市出身。〇〇二年から〇五年まで、立命館大在学中の二学生女流名人戦で四連



自らが企画した紙製の知育教材「きょうりゅうしょうぎ」をアピールする石内奈々絵さん＝福井市高木中央2丁目の中山商事で

## いろいろな遊び方など 作りやせな絵合わせタワー

覇。〇三年には第三十五竜詰め将棋」や、駒が動期女流アマ名人戦で優勝ける範囲以外に恐竜の卵した実績を持つ。

「きょうりゅうしょうぎ」開発のきっかけは、(歩)を隠すゲームなど、難易度を上げたものも紹介している。もち「将棋で集中力と思考力ろん通常の将棋も可能が鍛えられた」という自だ。

身の体験から。五歳の娘 価格は、四十個の駒とを育てる母親の視点も加 盤、遊び方の「指南書」えて商品化にこぎ着け 付きで一組二千元。材料には同社がこれまで廃棄た。

駒は縦横三・三・三、厚 価格は抑えた。 開発には社員の子ども

ラスト化し、四十個の駒 らも協力。石内さんには王将にティラノサウルス、飛車にプテラノドン、角にはトリケラトプスを描くなどした。裏面 てほしい」と話す。は成った時用に、それぞれ 同社では社員の自由な

の恐竜が餌をくわえた 発想の商品化を後押ししており、中山裕一朗社長

絵となつてゐる。 小さな子どもでも楽し (四)は「各社員の強みを

めるように、駒を積み上 生かして業績を伸ばし、

げてタワーを作ったり、 福井もPRしたい」と 絵を合わせたりする遊び 意気込んでいる。問い合

方も提案。また盤上の恐 わせは中山商事＝電07

竜たちで、敵のティラノ 76(53) 8000＝

サウルスを捕まえる「恐 へ。